

必聴!! 下野竜也の ブルックナーNo.1

シューマン&尾高惇忠の
知られざる傑作を求めて

2018

7/21(土)・7/22(日)

京都コンサートホール

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

午後2時30分開演 (午後1時30分開場)

Sat, July 21, 2018 / 2:30PM Sun, July 22, 2018 / 2:30PM

Kyoto Concert Hall

©伊藤菜々子

©Naoya Yamaguchi

©Naoya Yamaguchi

京都市交響楽団

第625回 定期演奏会

The 625th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

指揮 **下野 竜也** (常任首席客演指揮者)

Conductor: Tatsuya SHIMONO (Principal Guest Conductor)

ピアノ **野田 清隆**

Piano: Kiyotaka NODA

シューマン(野本洋介編曲): 「天使の主題による変奏曲」からテーマ

尾高惇忠: ピアノ協奏曲

ブルックナー: 交響曲第1番ハ短調 WAB 101 (リンツ稿・ハース版)

Schumann (orch. by Yosuke Nomoto):
Theme from "Variations on a Theme (Ghost Variations)"

Atsutada Otaka: Concerto pour piano et orchestre

Bruckner: Symphony No.1 in C minor WAB 101 (Linz version, ed.R.Haas)

開演前(午後2時ごろから)は指揮者による「プレトーク」、
終演後は「レセプション」でお楽しみください。
「プレトーク」はホール・ステージ上にて、「レセプション」はホール・ホワイエにて開催します。

入場料 **S ¥5,000** **A ¥4,500** **B ¥3,500** **P ¥2,000** (舞台後方席)

当日残席がある場合のみ発売 ▶ 学生券&後半券 **S ¥2,000** **A ¥1,500** **B ¥1,000**

※学生券は開演1時間前から(学生証をご提示ください)、後半券は開演後から休憩終了(後半開始)まで発売(学生券は、席種は選べますが、座席指定はできません)。

- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約)をご利用ください。
(お子様お1人につき1,000円/2018年7月13日までに京響075-711-3110へお申し込みください)
- ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。
京響(075-711-3110)までお問い合わせください。

プレイガイド(電話予約)

- 京都コンサートホール… (075)711-3231
- ロームシアター京都… (075)746-3201
- 24時間オンラインチケット購入 <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ… (0570)02-9999 Pコード349-198
- ローソンチケット… (0570)000-407 Lコード58093

お問い合わせ
京都市交響楽団 (075)711-3110 <https://www.kyoto-symphony.jp/>
京都コンサートホール (075)711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>
©未就学のお子様のご入場はお断りいたします。 ©都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

主催: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市



協賛: **ローム株式会社**

協力: 株式会社ドルチェ楽器

後援: (株)エフエム京都

発行: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。

Rohm Music
Foundation
ロームミュージックファンデーション



京都市交響楽団 第625回定期演奏会

The 625th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

探究心旺盛な下野竜也の指揮により、演奏機会が希少な傑作を。ブルックナーの交響曲からは2017年「第608回定期」での「第0番」に続く「第1番」で、のちに花開く壮麗さと大きなスケール感の萌芽が聴きとれるブルックナー初期作品の魅力を伝えます。シューマン最後のピアノ曲の管弦楽編曲版と、2016年に広上淳一指揮日本フィルと初演を務めた名ピアニスト野田清隆を独奏に迎える、現代日本の名作・尾高惇忠のピアノ協奏曲も、すべてが必聴!!

指揮

下野 竜也 (常任首席客演指揮者)

Conductor : Tatsuya SHIMONO (Principal Guest Conductor)



©伊藤菜々子

1969年鹿児島生まれ。鹿児島大学教育学部音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部附属指揮教室で学ぶ。1996年にはイタリヤ・シエナのキジアーナ音楽院でオーケストラ指揮のディプロマを取得。1997年大阪フィル初代指揮研究員として、(故)朝比奈隆氏をはじめ数多くの巨匠の下で研鑽を積む。1999年文化庁派遣芸術家在外研修員に選ばれ、ウィーン国立演劇音楽大学に留学、2001年6月まで在籍。2000年東京国際音楽コンクール(指揮)優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年プザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴び、以降、国際的な活動を展開。国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、海外においても、ローマ・サンタ・チェチーリア国立アカデミー管、ミラノ・ヴェルディ響、ストラスブルールフィル、ボルドー管、ロワール管、ウィーン室内管、カンヌPACA管、チェコフィルハーモニー管、シュツットガルト放送響、南西ドイツフィルコンスタンツ、シリコンバレー響など次々と客演を重ねている。読売日本交響楽団の初代正指揮者(2006年11月~2013年3月)を経て、同団首席客演指揮者(2013年4月~2017年3月)として、10年余りの間にヒンデミットとドヴォルジャークを軸としつつ新作初演まで取り組む意欲的な姿勢とプログラム構成で高い評価を獲得。更に2014年4月からは京都市交響楽団の常任客演指揮者に就任し、2017年4月には同団常任首席客演指揮者に就任。2011年から音楽監督を務める広島ウインドオーケストラとは、吹奏楽の分野に新たな一石を投じる活動で注目を集めている。2017年4月広島交響楽団音楽総監督に就任。これまでに、2002年出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2006年第17回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2007年第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞、平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣賞、平成25年度第46回MBC賞、2014年度第44回東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、平成28年第67回南日本文化賞特別賞などを受賞。鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。2017年4月、京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授に就任。公式ホームページ <http://www.tatsuyashimono.com/>

ピアノ

野田 清隆

Piano : Kiyotaka NODA



東京藝術大学および大学院修士課程修了後、ブラームスと20世紀作品を組み合わせた一連のリサイタルにより同大学院で博士号を取得。第64回日本音楽コンクール第1位および各賞を受賞。室内楽における内外の名手との共演はもとより、下野竜也、広上淳一をはじめ秋山和慶、尾高忠明、黒岩英臣、手塚幸紀、松尾葉子、山下一史、D.リス、川瀬賢太郎など多くの指揮者のもと読売日本交響楽団、日本フィル、東京交響楽団、東京シティフィル、東京藝大フィル、神奈川フィル、名古屋フィル、京都市交響楽団、大阪交響楽団などでソリストを務める。一方、現代音楽の領域でも活動しており、尾高惇忠《ピアノ・ソナタ》、《ピアノ協奏曲》の初演やブーレーズ《シュル・アンシーズ》日本初演に携わる。ゆふいん音楽祭、アフィニス音楽祭など各地の音楽祭に出演するほか、2017年にはアッセンブリッジ名古屋フェスティバルで愛知室内オーケストラを弾き振りし、モーツァルトやイベル作品を演奏した。CD録音には尾高惇忠《音の海から》、トランペットの高橋敦との《フレンチ・コネクション》、《トランペット・ダンス》、ヴィオラの小野富士との《小野富士の遺言》(ブラームス、ヒンデミットのソナタ)などがある。東京藝大ピアノ科・室内楽科講師を経て、現在は東京学芸大学准教授、ならびに東京音楽大学指揮科特別アドバイザー。東京クライス・アンサンブル、トリオ・エドアルテのメンバー。



©伊藤菜々子

京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月からは常任指揮者兼ミュージック・アドバイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月には広上淳一の指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年を記念して国内ツアー6公演と京都市内各所で「ふらっとコンサート」全10回を開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。2017年1月「第37回(2016年度)音楽クリティック・クラブ賞」本賞、同年3月には「第29回ミュージック・ペンクラブ音楽賞」クラシック部門「現代音楽部門賞」を受賞。2017年4月からは下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による強靱な3人指揮者体制を確立し、名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

2018 5/19(土)から発売!

❖ 次回予告 ❖

2018 6/15(金)から発売!

第626回定期演奏会

高関健、祈りの「戦争レクイエム」
鎮魂と反戦を歌うブリテンの集大成

日時: 2018年8月26日(日) 午後2時30分開演

会場: 京都コンサートホール

指揮: 高関 健 (常任首席客演指揮者)

独唱: 木下 美穂子 (ソプラノ)

小原 啓楼 (テノール)

大西 宇宙 (バリトン)

合唱: 京響コーラス、京都市少年合唱団

曲目: ブリテン: 戦争レクイエム op.66

助成: 公益財団法人アフィニス文化財団
Affinis
emblem
「音楽文化の担い手としてのプロ・オーケストラが主催する、
わが国ならびに各楽団が活動の重点を置いている地域に
とって意義がある企画」として選ばれました。

第627回定期演奏会

準・メルクル、ロマンへの憧憬
愛と激動の19世紀末を駆けた作曲家たち

日時: 2018年9月22日(土) 午後2時30分開演
2018年9月23日(日) 午後2時30分開演

会場: 京都コンサートホール

指揮: 準・メルクル

曲目: ワーグナー: 歌劇「タンホイザー」から
序曲とヴェヌスベルクの音楽
グリーグ: 「パール・ギュント」組曲第1番op.46
ブラームス: 交響曲第4番ホ短調op.98



©Masahide Sato



©Jean-Baptiste Millot

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)